

組織力を高める 「人間関係」の処方

～良好な関係性を築く「人間関係マネジメント」の提案～

(株)ターンアラウンド研究所 代表取締役社長 西村 健

■人間関係を分析し、組織的に良好な状態へ導く

チームワークがうまく機能し、安定して高い業績を出し続けられるグループA、対して、次々に退職者が出て人材が定着せず、誰も前向きな発言をせず、業績も振るわないグループB。この違いは何か。個別には、構成メンバーの性格と相性、個々の人材の能力・スキルレベル、リーダーシップの巧拙、世代間ギャップ、価値観のばらつきなど様々な要因が絡むが、マクロで括ると「人間関係」というキーワードが腹落ちする。その前提で人間関係が引き起こす問題の構造を分析し、段階的に解決の手を打っていく方法論を組織・人事コンサルタントの著者に探っていただいた。会社・職場・チームを組織的に良好な状態に導き、人的資本を高め、好業績を上げていこうという企画主旨から、“CさんとD課長の仲が悪い”といった場面にはあえて踏み込んでいない。人事部門の機能に引き寄せると、好き嫌い人事が横行するのではなく公平人事が実現してこそ社内の人間関係は良好に保たれるともいえるだろう。また、打ち手としては、「エンゲージメント調査」「ストレスチェック」のほか、「心理的安全性」「ハラスメント予防」「チームビルディング」等の研修企画も組み込んでいくことになる。中期的な課題テーマとしてもぜひ、「人間関係マネジメント」の全体像とアクションを視界に入れておきたい。(編集部)

CONTENTS

1. 「人間関係」がもたらす問題と解決策
 - 「人間関係」はいかに重要か
 - 「人間関係マネジメント」の提案
2. 「人間関係」がもたらす影響
 - 良好な人間関係のコツ
 - 人間関係を分析する視点
 - 「ハラスメント」にみる人間関係
 - 業務タイプ別「人間関係」問題
3. 「人間関係」の問題構造分析
 - 問題の起きる組織構造
 - 人間の心理、欲望、欲求、利害、組織の力学、組織風土、経営マネジメント
 - 問題の原因と原因分析
 - 問題ごとの深刻度と複雑度
4. 「人間関係」の問題解決ソリューション
 - 現状分析
 - 幹部マネジメント
 - チームビルディング
 - 特定社員のサポート
 - 組織のサポート
 - 人的資本経営
5. 「人間関係マネジメント」の未来
 - 相互理解促進と期待把握
 - DX時代の「人間関係マネジメント」

■西村 健：

慶應義塾大学法学研究科修士課程修了後、アクセンチュア(株)、(株)日本能率協会コンサルティングを経て、2021年、(株)ターンアラウンド研究所を創業。新規事業・イノベーション支援、人事評価設計・運用支援、ジョブ型雇用導入支援、デジタル・DXイノベーション支援を行っている。専門は人事評価、目標・KPI設定、業務改善、各種データ分析など。その他、「社会の医者」NPO法人日本公共利益研究所の代表、事業創造大学院大学国際公共政策研究所の研究員、行政機関の委員やNPOの理事なども務める。

■(株)ターンアラウンド研究所：

●URL：<https://www.turnaround.tokyo/> ●E-mail：turnaroundlab@gmail.com/

